

ふりがな 氏名	やべ たつひろ	都道府県	奈良県	
	矢部 達大			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ボーイスカウト大和郡山第1団ローバースカウト隊 ・京都産業大学現代社会学部現代社会学科 			
私のESD活動	まちづくり活動に参加・参画し、観光のまち・奈良にふさわしいまちづくりプランを提案・実行しています			

活動の概要

私は、奈良教育大学附属中学校に在学中、ESD 活動に取り組んできました。中学 1 年生の冬から地元にある遊郭跡の清掃活動に参加し、この建物を核としたまちづくり活動に現在も参加・参画しています。また、一条高校在学中には、まちづくり活動で感じていた“観光とまちづくりの融合”をテーマに、奈良市長に観光アクションプランを提案しました。このプランでは、“奈良市民の地元愛”と“観光客の奈良への想い”の 2 つが互いに奈良への想いを高め合い、その想いをまちづくりに活かしていくことを提案しました。その方法として、“民泊”を選びました。ただの民泊ではなく、山村留学からヒントを得、日常に触れるため学生に奈良市民の家庭に宿泊してもらい、第 2 の父と母を得て、将来大きくなって家族とともに奈良に里帰りし、移住・定住してもらおうというものです。奈良の良さは全員にはピンとこず、さらに当事者である奈良市民の多くは奈良の持つ魅力に気づいていません。このプランを実行することで若者に奈良の魅力に触れてもらい、それが分かる大人になって再び奈良に戻ってきてもらい、外からの視点も持つ当事者としてまちづくりに参加してもらおうことができると考えます。このプランは市当局や奈良市月ヶ瀬エリアの住民のみなさんと”続けていける観光プラン“になるよう若干の修正を加え、実行に移しました。現在は、奈良市の 1 つの観光の選択肢になるよう、取り組みを続けています。

今後の活動や協働への展望

私はこのコンファレンスで得たことを積極的にアウトプットし、まちづくり活動はもちろんのこと、社会学の研究や、指導者を務めているボーイスカウト活動でESD活動を広げ、実行に移すことでさらに発展させていきたいと考えています。また、このコンファレンスで得られるであろうたくさんの視点から、自分の興味のあるSDGsを再度見つめ直すことで、新たなアプローチの仕方を学び、方法を生み出して自分のESD活動に幅を持たせたいと考えています。特にボーイスカウト活動とSDGsでは、多くの共通点があります。いまはまだ結ばれていない2つを結ぶことで、SDGsと関連する形の新しいボーイスカウト活動を展開し、ESD活動を発展させます。

また、ESD日本ユースの一員としては、それぞれが展開するESD活動の事例共有を行い、参考にしながらそれぞれの地でさらにESD活動を発展させるために協働したいと考えています。同じ17つのSDGsやESD活動を見ても、様々な視点があり、同じ視点でも様々な活動の展開方法があると思います。それらの成功事例や失敗事例をそれぞれ共有し、助言し合うことでESD活動の更なる発展ができるのではないのでしょうか。コンファレンスの場・一度きりではなく、ずっとつながるイメージを持ってコンファレンス以降も活発に意見交換しながら、ESD日本ユースのみなさんと協働していきたいです。